

大町病院を守る会会報

No. 51

2017年1月発行
大町病院を守る会
発行責任者北村喜男

経営改善は職員一人ひとりが考えよう 独立行政法人って何？

サポーター、市民も職員もよかったといえる改革を

市立大町総合病院を守る会 会長 北村喜男

あけましておめでとうございます。

昨年暮れの12月1日付信濃毎日新聞は「大町病院の経営改善 独立行政法人化を検討へ」と題する報道記事を載せました。少しずつ改善の見通しはついてきているものの、直ちに黒字転換は図れません。守る会はこれまで会報を通じて随所に職員全体の問題としての経営改善を進めようとの思いを会報に掲載してきました。そして守る会はこれまで病院職員に対し情報交換や交流を深めるために会への加入を勧めてきましたが、会員の加入も少数にとどまっています。一部職員を除いて会員加入が少なかつたため全職員への問題提起となっていなかったのではないかと反省しているところです。

守る会の在り方や、存在そのものを疑問視する声も出始めています。今年1年、どうしたらよいのか皆で議論する必要がありそうです。また職員の皆さんにも自分の問題として本気になって病院経営再建を考えてほしいのです。時は待たずに流れ、事態は手をこまねていれば悪化するだけです。独立行政法人とは何か。移行のメリット、デメリットは何か。どのような方法が最も良い経営改善になるのか。急ブレーキをかける事態となつては、困るのは市民や職員です。

幸いなことに医療スタッフや設備はこれまでになく充実し、若い医師を先頭に元気いっぱいです。このチャンスを生かさない手はありません。守る会は応援団としてサポートしていきます。



2016.12.1 信毎の記事・・・『経営改善を目的とした「新改革プラン」を策定している大町市立総合病院は30日、プランの素案を市議会全員協議会で説明し経営再建のために独立行政法人化を検討することを明らかにした。2020年度の移行を想定する。純損益は2012年度から赤字が続いているが、早期退職制度の創設などで職員削減を進め、2020年度から黒字に転じるとした。同病院は医師不足などから経営難が続いており昨年度は4億3500万円の赤字。本年度も4億5200万円の赤字を見込み累積赤字は15億3600万円に達する見通しだ。市一般会計から同病院への繰入金は2010年度から年間8億円前後で推移している。素案では県内7公立病院と比較した場合大町総合病院は医師や薬剤師が不足しているが事務員や介護職員などは多い状況にあると説明。ここ数年は医業収益は横ばいだが人件費は増加しており昨年度の医業収益に占める人件費の割合73.7%と7病院(県内公立)と比べると上回った。大町総合病院の給与体系は市に準じているが独立行政法人化することで独自の給与体系を設けられる。総務省は全国の公立病院に本年度中に新改革プランを策定するよう要請しており同病院は昨年2月から病院内や牛越市長が参加する経営検討委員会で策定を進めてきた。牛越市長はこの日、「人件費抑制という抜本的な改革に取り組まなければならない。独立行政法人化を意識の中心において改革し、より良い医療を目指したい。」と述べた。』

総務省指導に基づく独立行政法人についてじっくり検討

病院経営は慢性的な医師不足、診療報酬の相次ぐマイナス改定などによる厳しい状況が全国で起きています。今回の改革案は、総務省より自治体病院の再生に向けて新公立病院改革プランのガイドラインが示され策定が要請されているのです。総務省は経営形態の例示として公営企業法の一部適用、全部適用、独立行政法人、指定管理者、民間譲渡を示しています。大町病院は公営企業法の全部適用をすでに実施してきました。次の移行は独立行政法人としていくのがベターな選択かと思われませんが、法人への移行については課題解決に相当な期間が必要となるため、今後その必要性や可能性を議論する場を立ち上げます。

経営改善推進チームの設置

市議会に説明された病院の新改革プラン(素案)は対策などを盛り込み、事業管理者が直轄する経営改善推進チームを設置し、きめ細かな改善を図りながら早期かつ着実に経営改善を推進していくとしています。

守る会はず勉強会を開催していきます・・・

守る会では病院経営について問題の把握や改善の方向を考えるために様々な角度から学習会や意見交換会を開催し、それを会報で資料含め報告していきたいと考えます。また、地域懇談会を開催し、現在の大町病院の高度で優秀なスタッフの存在をPRし、利用者の拡大を図ります。また市民と職員に守る会への加入を呼びかけ情報交換に努めます。



イルミネーションコンサートで演奏する検査室の有志 M. T. Girls の皆さん

ASCII.jp デジタル用語辞典の「独立行政法人」解説は・・・

「独立行政法人」とは政府の事業のうち、大学、博物館、病院、研究機関など、独立して運営した方が効率的な部門を分離独立させた法人のことである。同法人は主務官庁から必要資金である運営交付金を受け取るが、使用用途は独自の裁量に任され、また組織の再編に関する決定権も持つ。一方、財務諸表を作成し、交付金の額面調整、組織の存続も含め外部の委員会から業績のチェックを受けなければならないという縛りもある。2001年に、57の独立行政法人が発足し、以後、徐々に拡大している。なお、2004年から、国立大学も独立行政法人に移行している。(注：地方独立行政法人への財政措置は国の扱いと異なり配慮されている。)

イルミネーション点灯式に多くの市民・職員が参加



12月1日、午後6時から病院駐車場に於いてイルミネーションの点灯式を行ないました。牛越市長、井上病院長(事業管理者)・守る会北村会長の3人によりカウントダウンに合わせて点灯スイッチが押されました。カウントダウンには市民・職員が大勢参加し、大きな声で盛り上げました。20メートルに及ぶモミの木は昨年よりライトラインが增強され、美しく燦然と輝いています。駅前交番付近からも見えます。なお、点灯時間は午後5時から病床消灯時刻の9時までです。

イルミネーションコンサート大盛会

点灯式が終了したのち、南棟「さくら」でイルミネーション・コンサートが開かれました。

5組の病院医師、職員、市民が楽器演奏をしました。演奏いただいたのは検査室女性グループのM. T. Girls・鈴木智敬研修医・鳥井旬医師、五味志文医師、海野隆彦医師と小林美恵さんです。

演奏は素晴らしいの一言に尽きました。プロ顔負けの名演奏にあつという間に1時間が過ぎてしまいました。会場には80人ほどの来場者が耳を澄ませて聴き入りました。「来年も是非」との声が聞かれました。演奏者と曲目は以下のとおりです。

M. T. Girls(検査室女性)・・・ハンドベル:ベートーベン「喜びの歌」
鈴木 智敬 研修医・・・トランペット: 曲目ラピュタから「ハトと少年」他
鳥居 旬 医 師・・・ピアノ: ①モーリス=ラヴェル「ボロディン風に」
②坂本龍一「Merry Christmas Mr.Lawrence」
五味 志文 医 師・・・ピアノ: Alfred Newman「慕情」
海野 隆彦 医 師・・・チェロ: サン・サーンス「白鳥」
ピアノ伴奏 小林美恵さん



演奏する皆さん



鳥井旬先生のピアノ



鈴木千尋先生のトランペット



M. T. Girls



海野隆彦先生のチェロ 伴奏小林美恵さん



五味志文先生のピアノ

お知らせ

1月29日に計画していましたが、雪あそび交流会は、諸般の事情から中止といたしますのでご了承ください。

◎会員募集中です！！市民・職員の皆さん病院を一緒に盛りたてましょう

◎会費を納入していただきました（順不同・敬称略）

個人会員

宮坂陽一 真嶋康 小林真奈美 南部道雄 横川仁 山口倫子 山口綾香 島田元実 芹澤久美子 篠崎ヤヨヘ 小日向美春 勝野稔 黒岩徹 村山司 高橋政之 縣和彦 勝野礼二 平林千恵 小林治男 堀堅一 佐藤浩樹 降旗達也 勝野富男 中嶋一郎 若林茂男 種山喜和夫 最上正 興国和美 鈴木幸佳 中村康貴 中嶋満 酒井周一郎 種山博茂 遠藤照子 柳澤たに江 降旗いずみ 北澤一人 田中秀司 新津義文 傘木覚 北原靖朗 橋井弘治 小林敏博 浅見昌敏 宮永玉子 平林英市 柏原一正 吉澤伸 林春美

団体会員

県理容生活衛生同業組合大北支部 (株)タカミ薬局 奥村印刷所 佐藤歯科医院 大北医師会 大町市職労 大町病院労組 市体育協会 大北保険薬局事業組合 大北農協(株) ハーヴェスタクリエイション 明日香荘の皆さんです。

寄付を頂きました。転任に当たり鈴木滋先生より10万円を頂きました。

皆さんありがとうございました。

※未納会員の方・・・会費納入は封筒に住所、氏名を記入の上、大町病院1階医事課小林補佐または2階庶務課小林係長にお預けください。守る会へ届きます。

(問い合わせは高橋事務局次長 携帯電話 090-4054-2747 まで)